




令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

| | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 磐田市立東部小学校 】

| | |
|--------------------|---|
| 1 実践テーマ | I ・ II ・ III ・ IV ・ ⑤ (複数選択可) |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 磐田市立東部小学校 第6学年(4クラス) 136名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) |
| 4 目標 (ねらい) | オリンピックとのふれ合いを通して、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を目指す。 |
| 5 取組内容 | <p><事前学習として></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に、オリンピックの歴史や意義、オリンピックに向けた選手の取組・努力等について、道徳の授業や学級活動、朝の会や帰りの会での教員の話の中で伝えていく。 ・東京オリンピックでの地元出身選手の活躍を取り上げる。 ・校舎の4階の窓にオリンピック関連のメッセージを掲示 <p>～オリンピック前～</p>  <p>～オリンピック開幕後～</p>   |

<オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業>

1 オリンピアンによる講話

講師 バルセロナ五輪 柔道女子52キロ級銀メダリスト 溝口紀子 氏

2 テーマ「将来の夢について考える」

学校教育目標「夢をもち みんなと学ぶ たくましい子」に照らして、キャリア教育と関連付けた講話をしていただく。

3 講話の内容

(1) オリンピックって何だろう

- ・オリンピックの歴史や意義

(2) 銀メダルの意味

- ・メダルに込められた意味とは

(3) 自己紹介

- ・競技を始めたきっかけ。これまでの歩みから
- ・フランスチームとしてアテネ五輪へ
- ・女性初の代表コーチ

(4) 東部小の子供たちへのメッセージ

○北極星を見つけよう

- ・北極星は、なりたい自分の目印

○ピンチをチャンスに変える呪文 3つの「あ」

- ・あせらない、あわてない、あきらめない

○チャンスを引き寄せる 2つの「あ」

- ・ありがとう、あいすること (愛することの反対は無関心)





6 主な成果

(1) オリンピアン講話

講師の溝口紀子氏より、本校からお願いしたテーマや内容（テーマ：「将来の夢について考える」、内容：学校教育目標「夢をもち みんなと学ぶ たくましい子」に照らして、キャリア教育と関連付けた話をしていただきたい。）に沿った内容で、大変分かりやすく、児童に夢や希望を持って歩みを進めていこうと思わせる話をしていただいた。

また、バルセロナオリンピックで獲得した大切な銀メダルを持参し、児童一人一人が手に取る機会も設けてくださった。児童は、その重みや輝きを実感することができた。

～講演していただいた内容より～

「銀メダルは、足りない何かを探す宿題を与えてくれるメダルである。あきらめずに頑張っていれば、次にはきっといいことがある。」

「挫折して自分を見失った時には、北極星を見つけよう。北極星とは、将来なりたい自分の目印。自分がどこに向かうべきかに迷ったときに、自分を見出す方法である。」

「ピンチをチャンスに変える呪文は『3つの“あ”』。あせらない、あわてない、あきらめない。」

「チャンスを引き寄せる『2つの“あ”』。ありがとう、あいすること。」

～児童の感想より～

○ オリンピックは、「世界平和」を願ってできた、すばらしい大会なのだと知った。

○ 銀メダルは、すごく重かった。溝口さんは、銀メダルを「負けたメダル」と満足していないことから、本当に、オリンピック選手はプライドが高く、すごいと思った。そして、そこでくじけることなく次に生かせるように、あきらめず努力していることから、私は選手の方々を尊敬したいと思った。最後まで自分の残した功績について考える姿勢を学ぶことができた。

○ 「北極星を見つける」という言葉が心に残った。自分の北極星(目印)を見つければ、何をするのか、どこへ進むのかが分かりやすくはっきりとして、新しい目標を見つけられると思った。北極星は自分の軸だと考えられる。自分も夢に向かう時は、自分の大きな目標やあこがれの人など、「北極星」を見つけ、小さなことでも確実に一つ一つ達成していききたい。自分の夢を常に頭の中に入れて自分の生き方を見付けていききたい。

○ 「夢」や「なりたい自分・未来」に近づくには努力しかないが、たくさん努力しても報われないこともあるし、努力に裏切られることもある。でも、努力しなければ、努力する意味を知ることや、挫折して自分の進む方向を見直すきっかけもない。だから、努力するしか答えはないという考え方を自分に生かしていききたい。今のうちに夢だけでも見つけられたらと思った。

○ 「可能性を感じてほしい」という言葉が心に残った。何事にも挑戦してみるという溝口さんの姿勢がとても伝わってきた。

○ ピンチの時は、あせらず、あわてずに、だめそうでもあきらめずに、最後までやり遂げることを生かしていききたい。

○ 誰にでも感謝（ありがとう）の気持ちをもって、みんなを思

いやり、受け入れる（愛する）ことを意識していきたい。
 「ありがとう。」を声に出して伝えていないと思ったので、これからは言葉で伝えたいと思った。みんなに助けられて今の自分があることへの感謝の気持ちをしっかりもって、助けてくれた人たちを大切にしていく。

- 溝口さんの話を聞き、何事にも意味を見付け、人に言われてやるのではなく自分から進んで取り組む姿勢を大切に、自分だけの北極星を見付けていきたい。これからは、溝口さんのように、強い意志を持ち、みんなと支え合いながら人生を過ごしたい。

(2) 広報

新聞に取り上げられ、オリンピックの講演から児童が感じたことや、本事業の取組等を、地域に向けて発信することができた。



7実践において工夫した点(事業の特色)

- 本校は、JR 東海道新幹線に隣接している。校舎の4階の窓に掲示したオリンピック関連のメッセージを見た乗客から、磐田市役所に電話が入り、「車窓からメッセージが見られた。大変よい取組だと思った。」とお褒めの言葉をいただいた。
- 昨年度は、感染症予防のためオリンピックと各教室をリモートでつないで実施し、リモートのよさ[映像やプレゼンテーションの使用により視覚に訴えやすい。感染症予防が容易。]を生かすことができた。今年度は、地元出身のオリンピックを招き、本校体育館で御講話いただいた。直接オリンピックから話を聞き、触れ合うことができるよさがあった。本物のオリンピックから学ぶ絶好の場となった。
- 講演講師が「目の前にいる本物のオリンピックから学ばせたい」という学校の思いを汲み、銀メダルを持参し、児童が手に取ってその重みを実感する場をつくってくださった。児童にとって、分かりやすく示唆に富んだ講話内容を実感をもって聴くことにつながり、大変ありがたかった。

| | |
|--------------|---|
| 8 主な課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 来ていただけるオリンピックを探すこと、謝金を含めた依頼の方法、スケジュール調整等が、初めて実施する学校や担当の方にとっては不安感や負担感を感じやすいのではないかと思います。 |
| 9 来年度以降の実施予定 | <p>次年度以降も、高学年の総合的な学習の時間と関連させ、「将来の夢について考える」をテーマに、学校教育目標「夢をもちみんなと学ぶ たくましい子」に照らして、キャリア教育と関連付けた話をしていただきたいと考えている。オリンピックだからこそ語れる内容に直に触れ、子供たち一人一人が主体的に自分の将来の夢について考えていく契機としていきたい。</p> |